

～子供たちの夢をかなえる教師になる！～

東京教師養成塾通信

発行日 令和3年1月8日

<第1号>

発行元 東京都教職員研修センター

研修部教育開発課

電話 03-5802-0318

東京教師養成塾は、東京教師養成塾連携大学や教師養成指定校、学校経営支援センター、区市町村教育委員会との連携を図り、東京都の教員に必要な豊かな人間性と実践的指導力を兼ね備えた人材を学生の段階から養成するために、東京都教育委員会が平成16年度に設置しました。今期で18回の入塾生を迎え、これまでに約1,900名が修了し、多くの修了生が東京都の教員として活躍しています。

「東京教師養成塾通信」は、東京教師養成塾の活動について広く知っていただくことを目的に発行しています。

●第18期（令和2年度11月入塾） 東京教師養成塾 入塾式

令和2年11月22日（日）東京都教職員研修センターにおいて、第18期（令和2年11月入塾）東京教師養成塾入塾式を挙行了しました。東京教師養成塾連携大学の学生である第18期養成塾生60名が、これから始まる養成塾の講座や特別教育実習に大きな希望を抱き、緊張した表情で入塾式に臨みました。

当日は、東京教師養成塾の塾長である東京都教職員研修センター 宇田 剛 所長から、「特別教育実習では、子供を心から愛し、子供の目線や立場に立って考えること、授業をすることが好きで授業を工夫していくこと、そして、これからの養成塾の様々な取組において全力を尽くしてほしい。」と激励がありました。

また塾生代表から、「これからの一年間、自分を常に成長させるという意識をもち、積極的に学ぶ姿勢を忘れることなく、絶えず理想の教師像を追い求めてまいります。」と、決意の言葉がありました。

今後、第18期養成塾生は、30区市の小学校54校、都立特別支援学校3校の教師養成指定校における特別教育実習や講座を通して、教師としての使命感や実践的な指導力、柔軟な対応力等を身に付けていきます。



— 塾生代表の言葉 —

●第1回教科等指導力養成講座

令和2年11月29日（日）に、教職員研修センターにて、第1回教科等指導力養成講座を実施しました。

高瀬主任指導主事の挨拶では、「講座や実習等での学びを通して、養成塾生として学ぶあらゆる場面で何事にも主体的に取り組み、各自が課題を見つけてそれを解決するよう努力することが大切である。」というお話がありました。

「東京都が求める教師像と18期生に期待すること」

石田部長から、東京都の教育が求める教師像や教師に求められる資質・能力やこれからの特別教育実習における授業研究の大切さについてのお話がありました。授業研究は、互いのアイデアや情報を交流し合い、よりよい授業を行うためのヒントや方策を見つける場であるというメッセージをいただきました。塾生の感想には、これからの子供たちとの出会いに期待を膨らませているという記述がありました。

「あなたもわたしも大切な一人 ～人権感覚を身に付ける～」

長友統括指導主事から、一人一人の児童・生徒を大切にしたい教育活動を行う意義を理解し、教師に求められる人権感覚について学びました。塾生にとっては、自分自身の人権感覚を見直す機会となりました。

「教師の魅力と責任」

大久保統括指導主事から、教師としての魅力をたくさん感じつつ、責任ある行動するためには、「信頼されるにはどうすればよいかと、自分に問い続けること」、「学び続けることの大切さを知っていること」、「社会人としての自覚を積み重ねること」が大切であることを学びました。

「特別教育実習の進め方」

塚原指導主事から、塾生が特別教育実習に臨むにあたり具体的な課題を設定することが大切であるという話がありました。塾生は、主体的に特別教育実習に取り組むことができるよう、教師の一日の動きについて具体例を確認し、それぞれの場面での取り組む姿勢や留意点を学びました。



<部長による講義>



<講座での塾生の様子>



<講座での塾生の様子>

【塾生の感想】

- 子供が「分かった。」と実感する瞬間を共有できるなど、子供の幸せや成長をやりがいのできる教師という職業に大きな魅力を感じた。
- 「教師の魅力と責任」の講座から、子供と共に一生学び続けられることは、教師の魅力であると同時に使命であると感じた。
- これから特別教育実習に臨む上で、教師を志す者としての行動や言動を見直していき、多くの児童と関わり研鑽を積みたいと感じた。
- 「縁を生かす」の話や人権感覚についての指導から児童の行動の背景にあるものまで理解し、一人一人の児童と向き合うことの大切さについて学んだ。

● 第2回教科等指導力養成講座

令和2年12月20日（日）に、教職員研修センターにて、第2回教科等指導力養成講座を実施しました。高瀬主任指導主事の挨拶では、「挨拶は、**あ**かるく **い**つも **さ**きに **つ**づけて行うことが大切であり、相手とコミュニケーションをとる上で有効である。」というお話がありました。

【全員共通】

「コミュニケーション能力の向上」では、株式会社マネジメントサポートの石塚 千佳子 氏から、他者との信頼関係を築くために必要なコミュニケーションスキルの向上やマナーについて講義・演習を受けました。身だしなみや挨拶、言葉遣いといった基本的なことから、適切な報告・連絡の大切さ・相談の仕方など、教師に必要なスキルを学びました。

「授業づくり①」の講座では、養成塾の岩田教授、對馬教授、小幡教授、齊藤教授から、単元(題材)において育成を目指す資質・能力を明確に設定すること、資質・能力を育成するために、主体的・対話的で深い学びの視点に立った授業づくりが大切であることを学びました。

【小学校コース】

授業づくりの基礎「国語①」の講座では、養成塾の岩田教授、對馬教授、小幡教授、齊藤教授から、学習指導要領の「国語科の目標と内容」について学びました。教材文を活用した演習では、「単元の指導目標」や「単元で取り上げる言語活動」を作成し、講座での学びを深めていました。

【特別支援学校コース】

「特別支援学校の教育課程と個別指導計画」の講座では、養成塾の豊田教授から、特別支援学校における教育課程についてや個別指導計画の作成のポイントについて学びました。一人一人の児童の実態を踏まえたカリキュラム編成の重要性について理解を深めました。



<マナー講座>



<授業づくりの講座>



<国語の講座>



<特別支援の講座>

【塾生の感想】

- ・ 「コミュニケーション能力の向上」の講座から、相手を思いやる気持ちが大切であるということ学んだ。教師として、児童と関わるなかで、児童の年齢や実態に合わせた話し方や聴き方も相手を思いやる気持ちにつながるのだと改めて感じた。
- ・ 国語科では、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を育成することを学んだ。また、主体的な学び、対話的な学び、深い学びを単元全体を見通して適切に設定する重要性を学んだ。
- ・ 特別支援学校の個別指導計画、教科等を合わせた指導の講座を通して、生活に結びつけた授業づくりをすることで児童の意欲が高まることを学んだ。